

⑫ 公開実用新案公報(U)

平1-76123

⑬ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成1年(1989)5月23日

H 02 G 3/14
B 60 R 16/02
H 01 H 9/04
H 05 K 5/03
5/06

7028-5E
B-7443-3D
C-6751-5G
B-6412-5F
E-6412-5F

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 筐体と蓋体の係止部の防水構造

⑯ 実 願 昭62-169091

⑰ 出 願 昭62(1987)11月6日

⑱ 考 案 者 佐 藤 彰 芳 静岡県御殿場市川島田252 矢崎部品株式会社内
⑱ 考 案 者 千 里 久 明 彦 静岡県御殿場市川島田252 矢崎部品株式会社内
⑱ 考 案 者 石 田 裕 一 静岡県御殿場市川島田252 矢崎部品株式会社内
⑲ 出 願 人 矢崎総業株式会社 東京都港区三田1丁目4番28号
⑳ 代 理 人 弁理士 滝野 秀雄

㉑ 実用新案登録請求の範囲

(1) 筐体と蓋体の何れか一方に穿設した係止孔と、何れか他方に形成され該係止孔に嵌入係止する係止突起とにより構成された筐体と蓋体の係止部において、

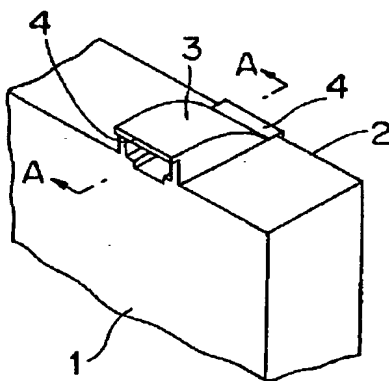
該係止部を覆う防水カバーを筐体又は蓋体に設けたことを特徴とする筐体と蓋体の係止部の防水構造。

(2) 上記防水カバーが筐体及び蓋体から突出した底部を有することを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の筐体と蓋体の係止部の防水構造。

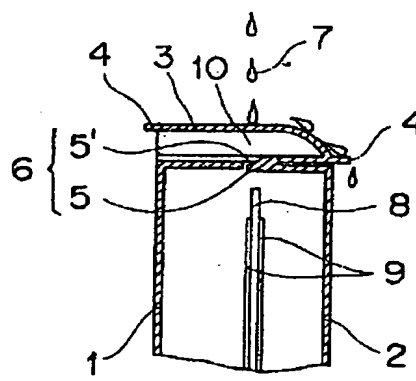
図面の簡単な説明

第1図は本考案の1実施例を示す筐体と蓋体の係止部の防水構造の斜視図、第2図は第1図のA-A線での断面図、第3図は本考案の他の実施例の分解斜視図、第4図は第3図の係止時のB-B線での断面図、第5図は従来例を示す筐体と蓋体の係止部の防水構造の斜視図、第6図は第5図のC-C線での断面図である。

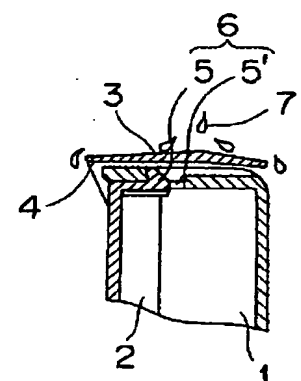
1…筐体、2…蓋体、3、3'…防水カバー、4…底部、5…係止突起、5'…係止孔、6…係止部、7…水滴。



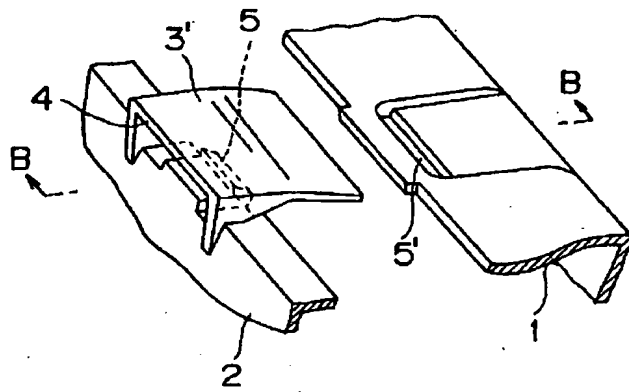
第1図



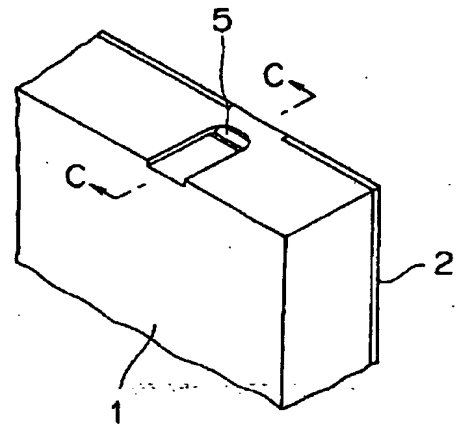
第2図



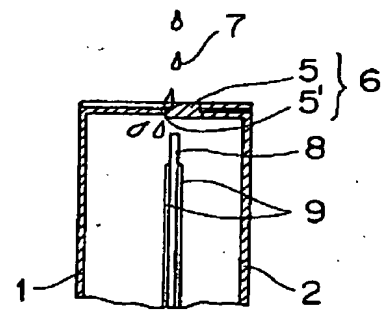
第4図



第3図



第5図



第6図